

# 特別展

## 神奈川県立 金沢文庫

Kanagawa Prefectural Kanazawa-Bunko Museum  
〒236-0015 神奈川県横浜市金沢区金沢町1-4-2  
TEL: 045-701-9069 FAX: 045-788-1060  
<https://www.pen.kanagawa.ed.jp/kanazawabunko/kanazawa.htm>

〔料金〕 ( ) 内は20名以上の団体料金

20歳以上500円 (400円)、20歳未満・学生400円 (300円)、  
65歳以上200円 (100円)、高校生100円、  
中学生以下・障がい者は無料。

〔交通〕 京急線「金沢文庫駅」東口より徒歩12分 (快特で品川駅より33分、横浜駅より16分)  
シーサイドライン「海の公園南口駅」より徒歩10分 (JR根岸線「新杉田駅」接続)

〔主催〕 神奈川県立金沢文庫

〔協力〕 日本古文書学会 横浜市金沢区役所



### 茶の湯以前

— 中世鎌倉の「茶」 —



Before the emergence  
of the Chanoyu

2024年

7・26 ▲金▲

9・23 ▲月祝▲

〔開館時間〕 午前9時～午後4時30分  
(入館は閉館の30分前まで)

〔休館日〕 毎週月曜日  
(ただし、8月12日、9月16日、  
9月23日は開館)、  
8月13日(火)、9月17日(火)

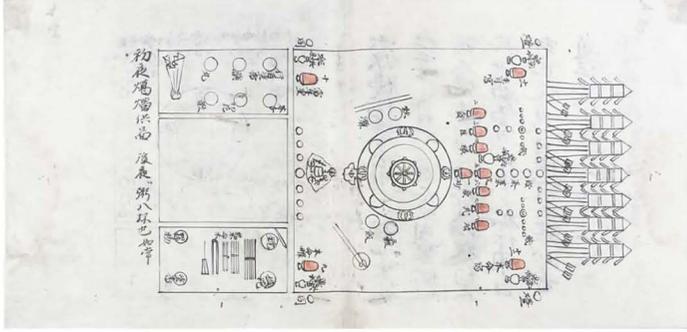
(上) 重文 青磁壺 元時代 称名寺蔵

(下) 青磁香炉 元時代 称名寺蔵 題字 宮崎肇

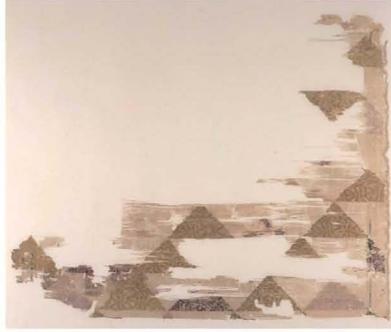


国宝 金沢貞顕書状 鎌倉時代

日本文化を代表する「茶の湯」。その成立以前には、どのような「茶」をめぐる世界がひろがっていたのでしょうか。神奈川県立金沢文庫が管理する国宝「称名寺聖教・金沢文庫文書」は、中世東国の茶に関わる歴史と文化を伝える貴重な史料群です。鎌倉時代を生きた人びとが贈答し、愛飲した茶、鎌倉仏教、とくに密教儀礼の場で用いられた茶など、中世には多種多様な茶の用途や機能がありました。「茶の湯」成立以前の、日本中世の茶の歴史と文化の諸相を、ゆかりの文化財を通じてご紹介いたします。



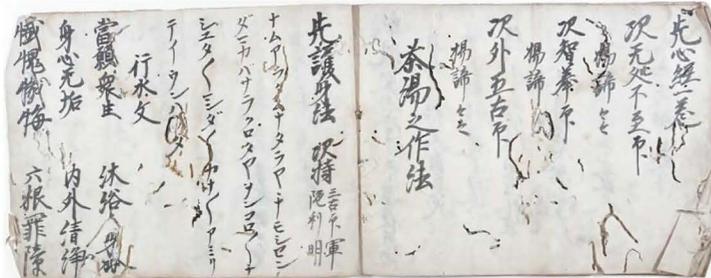
国宝 北斗護摩私記 鎌倉時代



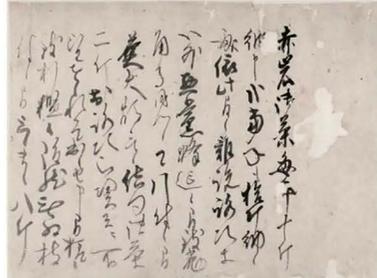
幡裂 鎌倉時代



青磁花瓶 元時代/花台 鎌倉時代



国宝 万事秘密集書 室町時代



国宝 氏名未詳書状 南北朝時代

※すべて称名寺蔵。文化財保護のため会期中一部展示替があります。詳しくはホームページでご確認ください。

## 関連行事

(講座・講演会)\*事前申込制/各回ごとにお申し込みします。

- ① 特別講演会 白川 宗源氏 (建長寺研究員・臨濟宗建長寺派 広福寺副住職)  
「「遊び」の喫茶文化—闘茶の歴史—」  
令和6年9月8日(日)
- ② 月例講座 貫井 裕恵 (神奈川県立金沢文庫 学芸員)  
「中世の「茶」—喫茶と仏教儀礼—」  
令和6年8月17日(土)
- ③ 月例講座 山地 純 (神奈川県立金沢文庫 学芸員)  
「金沢文庫文書で茶を調べよう!」  
令和6年9月14日(土)
- ④ 国宝 金沢文庫文書に親しむ講座 貫井 裕恵  
「中世鎌倉の「茶」関連史料を読む」  
令和6年9月23日(月・祝)

時間 ①は13:30~15:30、それ以外は13:30~15:00  
 会場 神奈川県立金沢文庫 地下大会議室  
 定員 各講座70名(応募多数の場合は抽選)  
 受講料 無料(ただし当日の観覧券が必要です)  
 申込方法 金沢文庫 HP「講座申込フォーム」、または往復はがき(お一人様1講座1通まで)に、講座名(開催日)、住所、氏名、電話番号を明記の上、①8月22日(木)、②8月1日(木)、③8月29日(木)、④9月5日(木)必着でお申し込みください。



次回予告  
**特別展 久米田寺**  
 令和6年9月28日(土)~11月24日(日)  
 香象大師像 鎌倉末~南北朝時代 称名寺



[交通]  
 京急線「金沢文庫駅」下車 東口より徒歩12分(快特で品川より33分、横浜より16分)  
 シーサイドライン「海の公園南口駅」または「海の公園柴口駅」下車徒歩10分  
 (JR根岸線新杉田駅接続)